

平成27年産水稻の生育状況と今後の対策 (水稻生育診断技術確立調査-5号)

農林総合研究センター
平成27年6月23日調査

気象経過

1. 6月第4半旬の平均気温は、金沢が平年より高く、輪島でかなり高くなった(金沢:+0.7℃、輪島:+1.6℃)。日照時間は、金沢で平年よりかなり少なく、輪島では平年並(金沢:64%、輪島:109%)、降水量は金沢、輪島ともに平年に比べかなり少なくなった(金沢:18%、輪島:49%)。
2. 6月19日に梅雨入りし、平年(6月12日)に比べて7日遅くなった。
3. 6月23日発表の週間天気予報では、晴れ間の出る日もありますが、気圧の谷や前線の影響で雲が広がりやすく、期間の中頃には雨の降る日があるでしょう。最高気温・最低気温はともに平年並か平年より高いでしょう。降水量は平年並の見込みです。

生育概況等

【生育状況】

1. 出穂期

中能登以南の平坦部のゆめみづほで幼穂が確認されており(1~5mm程度)、出穂は加賀地域で7月14~20日頃(近年比:1~3日程度早い)、能登地域(羽咋~中能登)では7月20~23日頃(近年比2~3日程度早い)と、いずれの地域も概ね前年並の出穂と予想される。

2. 葉齢

コシヒカリは10.2葉(平年比+0.3葉)で平年に比べ生育は2~3日早く、ゆめみづほは10.8葉(近年比+0.3葉)で近年に比べ生育は2日程度早い。

3. 草丈

コシヒカリは平年比105%(加賀地域103%、能登地域108%)とやや長く、ゆめみづほは近年比109%(加賀地域107%、能登地域114%)とやや長い。

但し、葉齢の展開状況から生育の遅速を勘案すると、いずれの品種も草丈は平年並と考えられる。(次項グラフ参照)

4. m²当たり茎数

いずれの品種も最高分けつ期に達している圃場が見られ、茎数の増加は緩やかとなっており、コシヒカリは、平年比99%(加賀地域97%、能登地域100%)と平年並、ゆめみづほは、近年比102%(加賀地域101%、能登地域103%)と近年並となっている。

6月23日

m²当たり茎数(平年、前年)及び株当たり茎数

コシヒカリ	県平均	528本	(平年比 98%	前年比 104%)	28.7本/株
	加賀	535本	(平年比 97%	前年比 109%)	29.0本/株
	能登	515本	(平年比 100%	前年比 96%)	28.2本/株
ゆめみづほ	県平均	581本	(近年比 102%	前年比 109%)	34.1本/株
	加賀	596本	(近年比 101%	前年比 112%)	34.6本/株
	能登	541本	(近年比 103%	前年比 101%)	32.8本/株

【病害虫の発生状況】

1. 現在までのところ本田におけるいもち病の発生は確認されていないが、BLASTA Mによる感染好適条件は、6月17日以降、複数の地点で出現している。
2. 雑草地における斑点米カメムシ類の発生は多い。

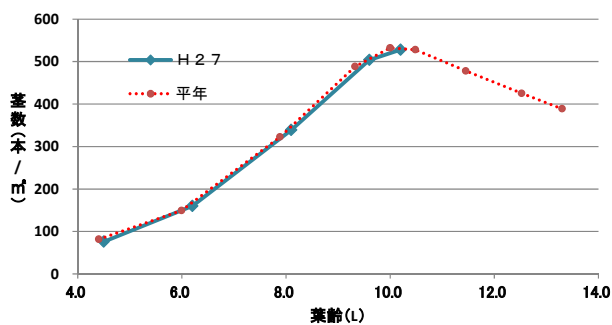
当面の対策

1. 早生は幼穂形成期に入っているため、中干しを終了し、以後、間断通水による飽水管理とし、根の機能低下防止に努める。
2. 早生の1回目の穂肥は、適期の幼穂長（ゆめみづほ：1～2mm出穂23日前、能登ひかり：2～3mm出穂20日前）を確認し、遅れずに施用する。ただし、茎数が多く、葉色が濃いほ場（葉色板4.0を超える圃場）では、1回目の穂肥を減量して施用し、2回目は出穂7～10日前に基準量を施用する。
3. コシヒカリは、稲体の健全化、弱勢分げつの発生抑制と有効茎歩合の向上を図るため中干しを継続し、特に、分施肥系の圃場では、中干しをしっかりと行い穂肥を施用できる稲体へ誘導する。
4. 高地力田や生育過剰な圃場では、やや強めの中干しを行い、適正粒数への誘導を図る。
5. 5月20日以降の移植ほ場においても、生育が早まっていることから、直ちに中干しを開始する。
6. いもち病の常発地や葉色の濃いほ場を中心に巡回を行ない、葉いもちの早期発見に努め、発生を認めたら直ちに防除を行う。
7. 紋枯病の常発地や前年発生ほ場及びゆめみづほ作付ほ場では発生に注意し、防除を徹底する。粉剤での防除は、イネの出穂10～14日前が適期である。
8. 斑点米カメムシ類の生息密度を下げるため、引き続き7月上旬まで畦畔や農道の除草を徹底する。除草は、集落など地域全体で一斉に実施すると密度低下の効果が高い。なお、刈り払った雑草は用排水路に入らないように注意する。

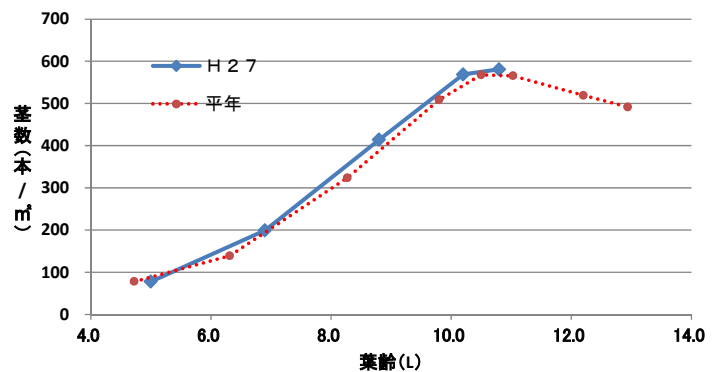
<参考：葉齢における茎数の増加・草丈の伸長>

葉齢を基に茎数の増加及び草丈の伸長を平年と比較すると、茎数の増加はコシヒカリ、ゆめみづほともに概ね平年並、草丈においても、概ね平年並となっている。

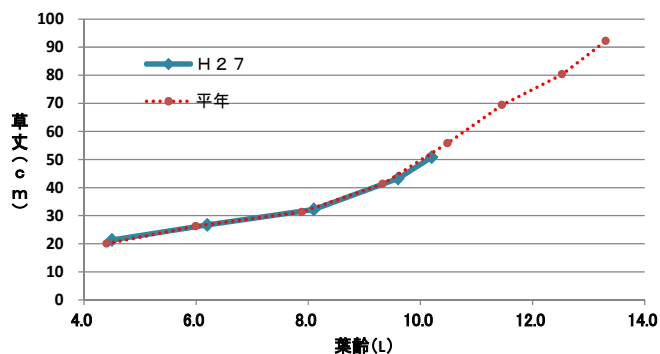
葉齢と茎数(コシヒカリ)



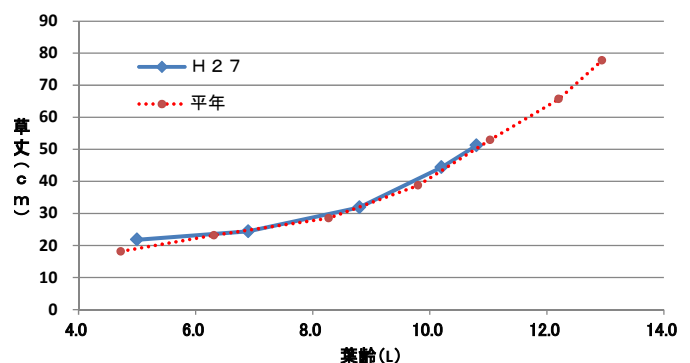
葉齢と茎数(ゆめみづほ)



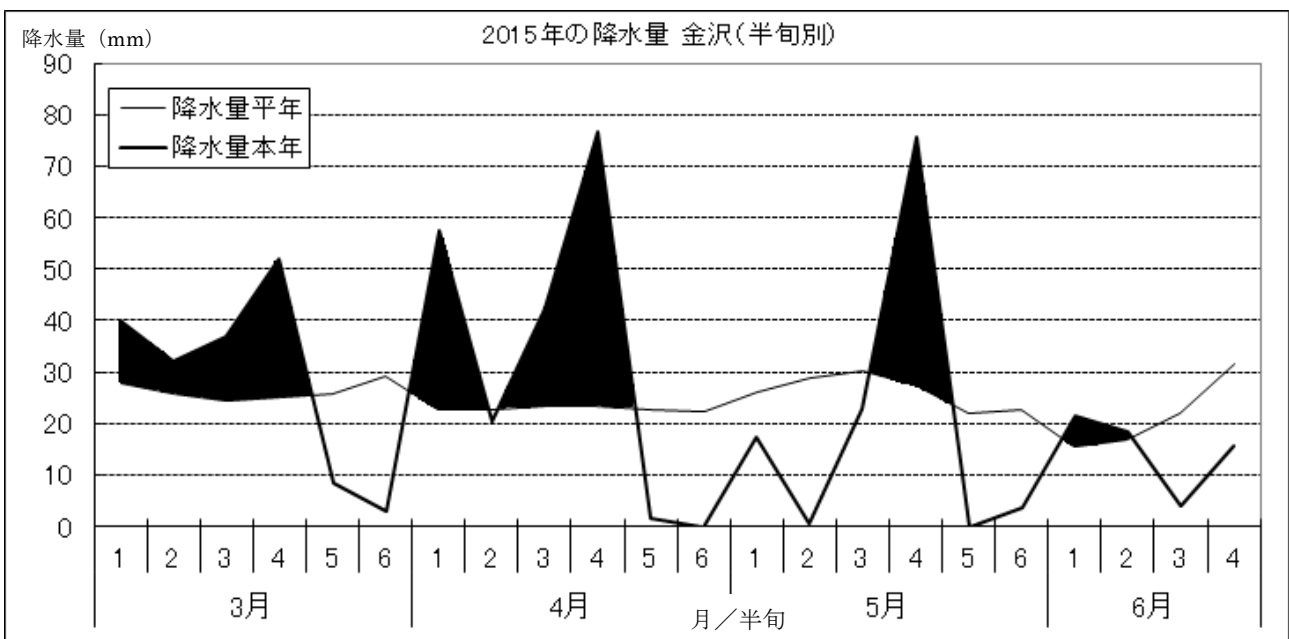
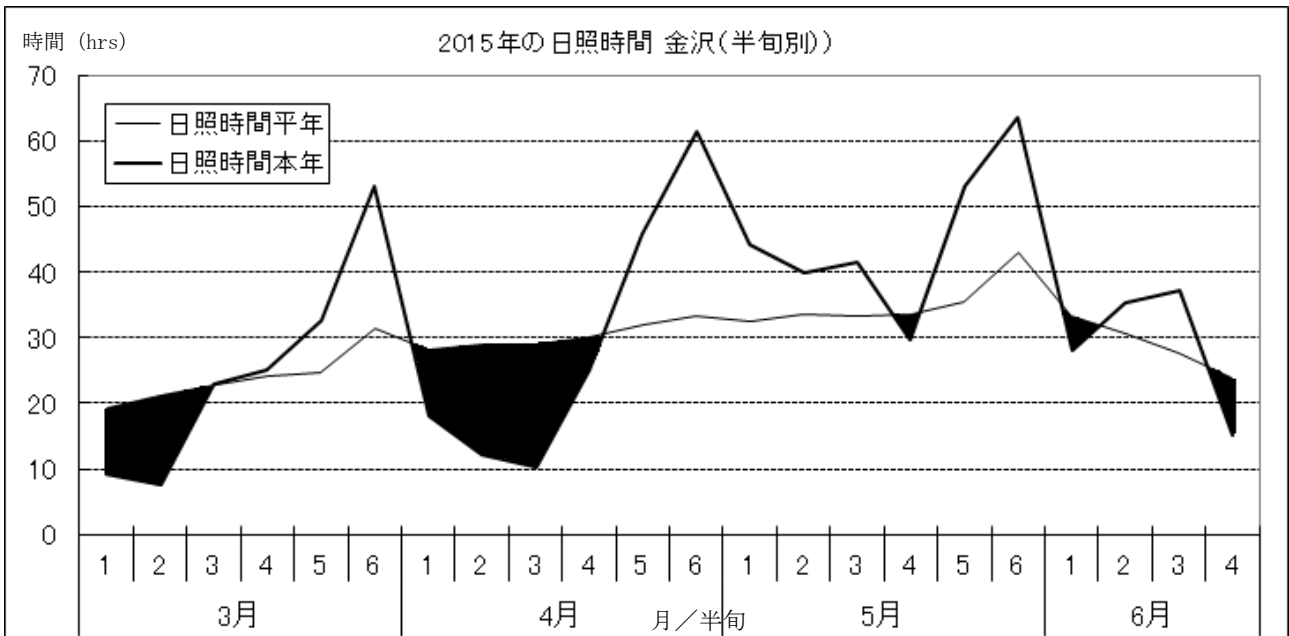
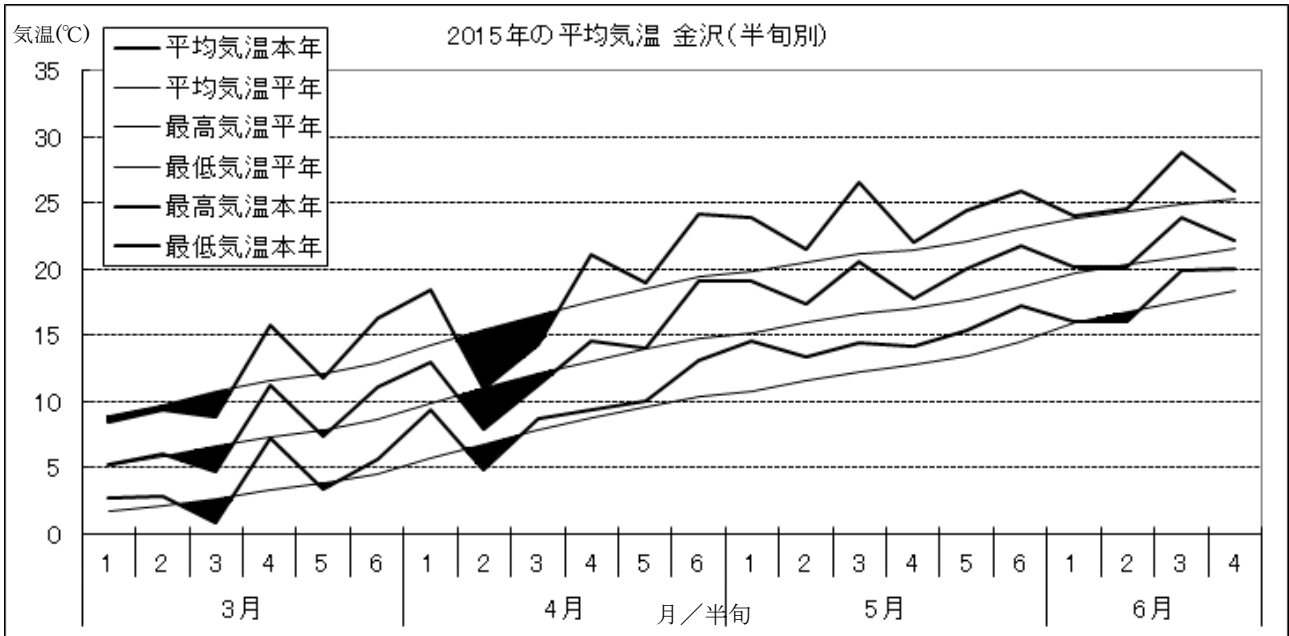
葉齢と草丈(コシヒカリ)



葉齢と草丈(ゆめみづほ)

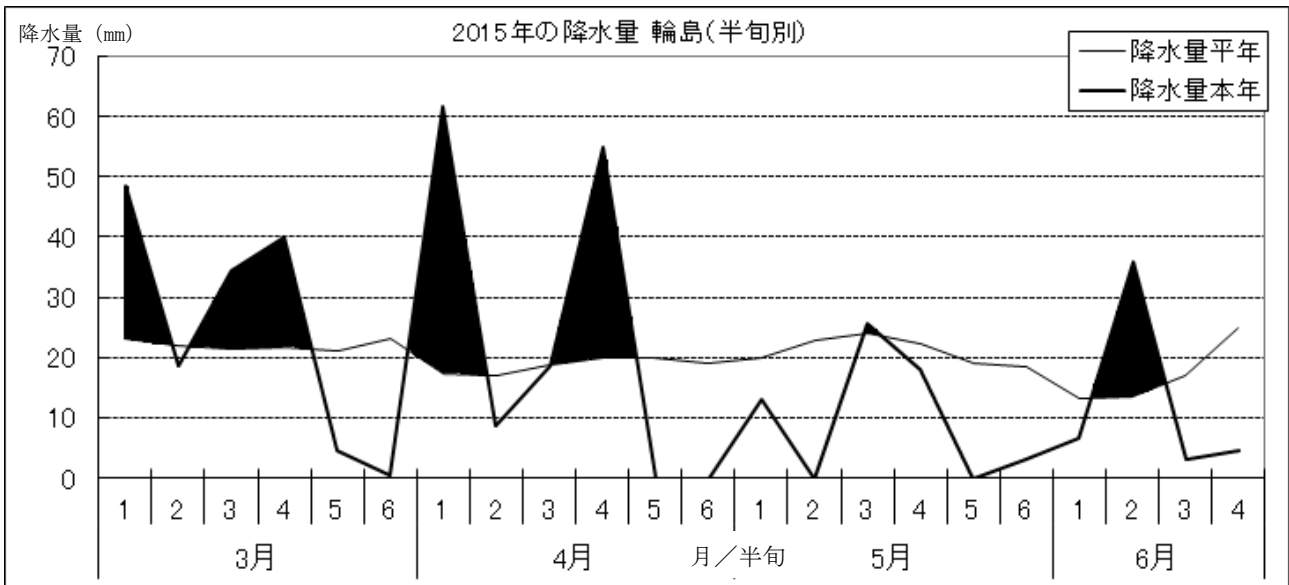
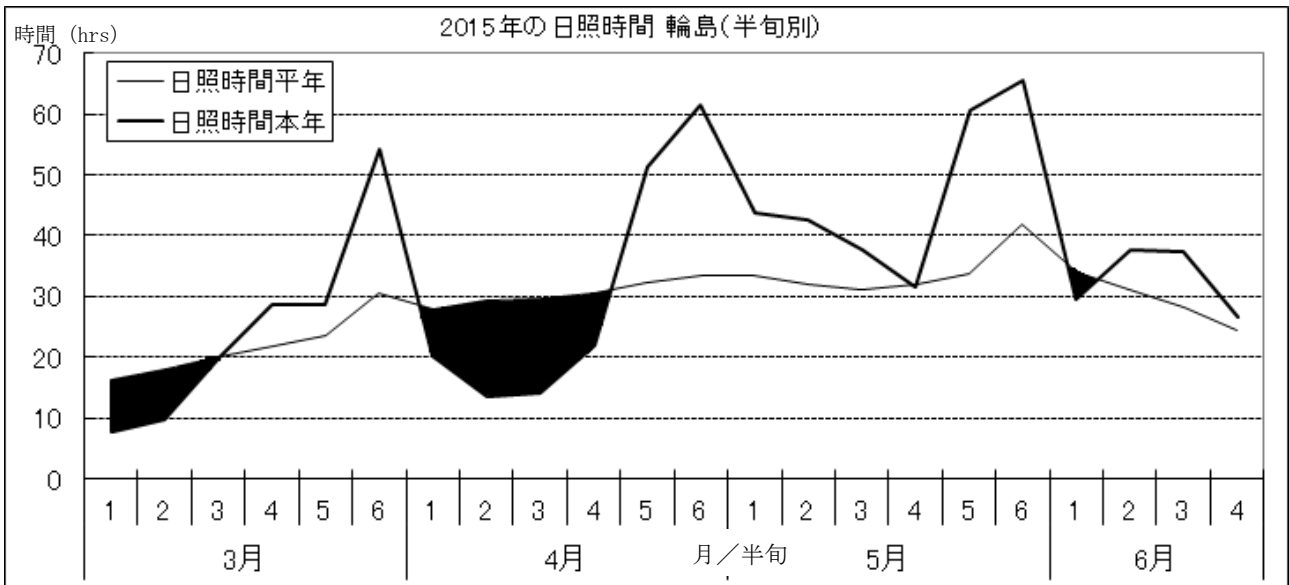
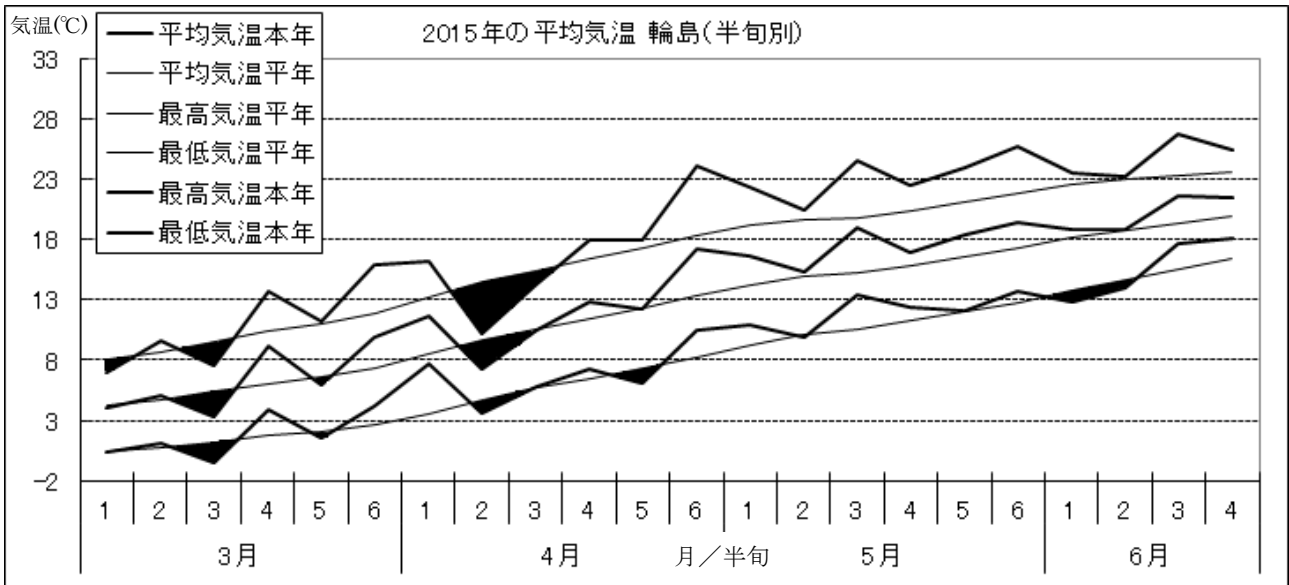


気象経過イメージ (金沢气象台)



※金沢气象台観測データを基に石川県農業試験場が作成
 ※平年値は過去30年間(昭和56年~平成22年)の平均値
 ※降水量・日照時間については、1、3、5、7、8、10、12月の第6半旬は、6日間の合計値となるため、他の半旬より値が大きくなる場合が多い

気象経過イメージ（金沢気象台）



※金沢気象台観測データを基に石川県農業試験場が作成
 ※平年値は過去30年間（昭和56年～平成22年）の平均値
 ※降水量・日照時間については、1、3、5、7、8、10、12月の第6半旬は、6日間の合計値となるため、他の半旬より値が大きくなる場合が多い